

平成 24 年 4 月 16 日  
電源開発株式会社

## ウガンダ国アヤゴ水力発電計画に関する コンサルタント業務の共同受託について

電源開発株式会社（社長：北村雅良、以下「Jパワー」）と日本工営株式会社（社長：廣瀬典昭、以下「日本工営」）は、平成 24 年 3 月 15 日に国際協力機構（以下「JICA」）から「ウガンダ国アヤゴ水力発電所整備事業準備調査」に関するコンサルタント業務を共同受託し、今般、国内作業に続き、現地調査を開始いたしました。

ウガンダでは平成 22 年のピーク電力 391MW のうち、水力発電は 200MW を賄うのみで、不足分はコストの高いディーゼル火力発電を使用しています。ウガンダ政府は年平均約 8%と予測される電力需要の伸びに対応するため、同国に賦存する豊富な水力資源の開発が優先課題としております。

このような状況のもとで、Jパワーと日本工営は JICA の委託を受けて「水力開発マスタープラン策定支援プロジェクト」を平成 21 年から平成 23 年にかけて実施しました（平成 21 年 12 月 15 日お知らせ済）。この支援プロジェクトの中で、複数の開発有望地点のうち、アヤゴ水力発電計画の開発優先度が高いことを確認し、同計画のプレフィジビリティ調査（以下「プレ F/S」）を実施しました。今回のコンサルタント業務は、先に実施したアヤゴ水力計画のプレ F/S のレビューを通じ、最適規模 600MW および段階開発の妥当性を確認し、第一期開発予定の 100MW 分について、円借款案件形成の観点に焦点をあてて調査を行うことを目的とします。このため、最適案の選定（プレ F/S のレビュー）、自然条件調査とプレ F/S のアップグレードの実施、環境社会配慮検討、投資計画などを行います。

Jパワーは国内外の業務実績を通じて培われた水力発電開発に関する技術的な知見や経験を最大限活用して、本業務を実施致します。

### コンサルタント業務の概要

- (1) 契約名：ウガンダ国アヤゴ水力発電所整備事業準備調査
- (2) 業務期間：平成 24 年 3 月～平成 26 年 3 月（24 ヶ月間）
- (3) 主な業務内容：
  - ・事業の必要性・電力需要など背景の確認
  - ・事業スコープ（事業範囲）の確認
  - ・実施体制、運営／維持管理体制の確認
  - ・プロジェクト評価
  - ・環境社会配慮

以 上

<添付資料>ウガンダ国の概要